

WEEKLY

例会場
 ロワジールホテル豊橋 TEL.0532-48-3131
 事務局 豊橋市藤沢町141
 ロワジールホテル豊橋本館9階 926号室
 TEL.0532-35-9973 FAX.0532-39-3743
 http://www.toyohashi-golden-rc.gr.jp
 email golden@toyohashi-golden-rc.gr.jp

RIメッセージ

地区方針

クラブ方針

フランチェスコ・アレツツォ会長

鈴木康仁ガバナー

神谷馨会長

UNITE FOR GOOD

ともに学び、ともに地域社会に貢献しよう!

 新たな時代へ 理想の未来への挑戦
 環境変化に対応し、より魅力的なロータリークラブへ

第11回(通算1715回)例会報告		令和7年9月19日(金)	イニシエーションスピーチ
ゲスト	米山奨学生 ホアン ヴァン ナム君		
出席報告	総会員数61名(計算会員数55名) 欠席15名 出席率72.73% 前々回修正出席率88.68%		
歌/会場	それでこそロータリー	会場: ロワジールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30~	

会長の時間



神谷 馨会長

皆さまこんにちは。先週のガバナー公式訪問では多数のご出席をいただきありがとうございました。設営、準備等大変お疲れ様でした。鈴木康仁ガバナーより本年度国際ロータリー会長メッセージ「よい

ことのために手を取りあおう」そして「ロータリークラブの最も価値ある宝は会員であり、一人でも多くの仲間をつくるのがロータリーの継続的な発展・成長につながるのだ」との考え方を推進していきましょうとお話がありました。また、鈴木ガバナーは会員同士の絆を深める事が大切との考え方により、少しでも多くの交流を持つことを自ら実践しておられます。「ご縁」を大切にすることを私たちも考え実践していきたいと思います。

9月12日に第3回理事会が開催されました。協議・審議事項を共有させていただきます。

① 令和7年11月例会プログラム協議の件

1. ロータリー財団担当例会について
2. ゆとりの例会について
3. 職場見学例会について
4. 卓話例会について

② 令和7年10月例会プログラム審議の件

1. 社会奉仕担当例会について
2. 米山記念奨学担当例会について
3. クラブ創立記念例会について
4. フォーラム「社会奉仕」について

以上承認させていただきました。

本日のプログラムはイニシエーションスピーチ例会です。猪俣ソノ子会員、加藤千映子会員よりしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

米山奨学金贈呈



米山奨学生
 ホアン ヴァン ナム君

ロータリー財団寄付認証

第2回マルチプル・ボールハリス・フェロー
 神谷 馨会員



誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます!



辻 信之会員 山下 孝会員

入会記念日祝い



松島弘和会員

中村彰宏会員

人生の岐路『あの時違う人生を歩んでいたら…』

伊藤眞芳会員



本日、会員スピーチをさせていただく2001年5月入会の伊藤眞芳と申します。入会して24年になります。年齢は、今年で74歳になります。テーマは「人生の岐路」という事です。このテーマをもらってから、ゆっくりと「自分の人生の流れ」を遡ってみる時間を得ることが出来ました。楽しくも、いろいろある人生を歩んでき



たものだと思います。

さて、私の職業分類ですが、「公認会計士」となっていますが、「税理士業務」を主とした仕事が多いです。事務所には、豊橋事務所 15 名、蒲郡事務所 6 名の仲間と楽しく仕事をしています。

ところで、私の「人生の岐路」は、まず、この公認会計士を選んだ事であります。ご存知の方もいらっしゃる方も見えると思いますが、私の家の職業は、「さつき湯」という銭湯を営んでいました。現在の仕事とは、全然、合致しない職業でした。当時の銭湯というと、「風呂に入って、ゆっくりとした時を過ごせる場」でありました。しかし、経営の方は、浴場の維持管理、湯を沸かす設備の維持等、朝から深夜まで家内労働の仕事でした。そんな仕事でしたので、自分なりにこの職業を営むことは困難だと思っていたし、父も一言も「銭湯を継ぎなさい」と言ったことはありませんでした。高校を卒業するころになると、父に、将来の職業について相談をかけました。すると、父は、趣味で、株式取引をしていた関係上、上場会社の仕事にタッチすると、世の中の事が少し解るようになる。そのためには、「公認会計士」という職業も良さそうだと教えてくれました。いきなり「公認会計士」と言われても、何をするのか、どんなふうにしたら「公認会計士」になれるのかも全然わからないまま、「面白そうだ」と思い、「公認会計士」になろうと決めました。その後、聞いていたとうり、だいぶ困難な時期を過ぎました。しかし、何とか 25 歳の時、2 次試験に合格し、30 歳の時、3 次試験に合格できました。その時も、今もそうですが父親への「感謝の気持ち」を忘れません。2 次試験合格後は、豊橋の会計事務所働き、又、地元の公認会計士の先生方にいろいろ教えていただきました。ありがたい事でした。31 歳の時、独立し、「税理士」を登録し開業しました。「人生の大きな岐路」でした。そして、独立してから、公認会計士の仕事で、東三河の上場企業等にお世話になりました。

しかし、公認会計士の仕事だけでは、生活が思うようになりませんでしたので、「税理士業務」に「力」を入れていきました。その時、多くの友人が「力」を貸してくれました。今でも感謝です。独立してからは、私は、時間もあつたし、豊橋祇園祭の町内でしたので、お祭りに大いに参加しました。その時の関係もあってか、36 歳で豊橋 JC に入会し、特に「全国大会」という大きなイベントにずっと携わりました。大会では、「財務関係の役割」をしていました。その JC 活動は、結構ハードで、昼は JC 活動、仕事は夜中にする事が多かったです。そんな活動によって楽しい仲間がたくさん出来ました。JC 卒業後は、豊橋商工会議所青年部に所属し、そこでも多くの楽しい仲間が出来ました。今は、豊橋 GRC で素晴らしい仲間とお付き合いをさせてもらっています。このように、いろいろな会に所属して多くの楽しい仲間が出来たことが、もう一つの「人生の大きな岐路」であると思います。今後も、この「つながり」を大事にして行きたいと思います。よろしく願いいたします。



中村彰宏会員

皆さんこんにちは、中村です。
人生の岐路「あの時違う人生を歩んでいたら…」と言うお題目でスピーチをさせていただきます。

私は先週療養の旅に出ていました。旅に出る前に原稿をほぼ完成させて旅に出ました。内容は、私は不動産業を営んでいますが、子供の頃からの「なりたい職業」の選択肢の中に無かった不動産業を、なぜ勝手に始める事になったかと言う経緯をお話ししようと思っていましたが、帰宅後人生の岐路になりそうな事が起こりましたので、完成させた原稿ではなく、その事をお話しさせて頂きたいと思います。

2 年前の会員スピーチで二男が結婚するお話をしました。令和 5 年 11 月 3 日に結婚式を挙げたのですが、令和 5 年 11 月 3 日は仏滅で 11 月 3 日は私が心筋梗塞で救急搬送された縁起の悪い記念日でしたので、「何でそんな縁起の悪い日にやるの？」と二男に聞いたら、「祥子ママ(二男のお嫁さんのお母さん)が膵臓癌と診断され、抗がん剤治療をしているので、なるべく早く式を挙げたいんだけど、空いているのがその日だけしか無いじゃんね」と言われた、というお話をしたかと思います。結婚式の日のお嫁さんのお母さんは、本当にガリガリでよろけていたので、大丈夫かなって思っていたのですが、数か月後に一緒に食事をする機会があつてお会いした時はとても元気そうでしたので、抗がん剤が合って治ったんだと勝手に思っていました。今年の 3 月にお会いした時も大分ふくよかになっていて、今息子たちは長久手市に家建てているのですが、その話を嬉しそうに話をしてくれ、とても元気そうに感じました。

先週の土曜日の療養の旅の帰り道、セントレアからの名鉄の中で携帯を確認していた所、二男から LINE が入っていました。内容は「祥子ママの容態が悪く 2 週間入院後明日退院して祥子とおばさんで看病するので、こっちはしばらく一人暮らし」と言うものでした。私は内心「これはまずいかな」と思いましたが、息子には「へ～大変だねえ」と返信しただけでした。

翌日の午後 2 時頃に二男から着信が入りました。よほどの事がない限り電話をしてこない二男ですので、その瞬間何が起こったか推測できました。推測通り「さっき祥子ママが亡くなりました」と言うものでした。67 歳でした。私は「わかりました。日程が決まったら連絡して」と言うのが精一杯でした。

15 日にお通夜 16 日に葬儀が行われ、名古屋の藤が丘まで行き妻と一緒に参列しました。今回は久しぶりに火葬場まで行き、火葬後の骨を拾わせて頂きました。

今回の祥子ママの死は、二男や一人っ子で十数年前にお父さんを事故で亡くしている祥子さんにとって、当然人生の岐路になると思います。

私は十年前に甲状腺癌が左上腕骨に転移し、二度手術し、放射線治療も二度行いました。数年前からは認可されたばかりの抗癌剤を服用して進行を抑えています。抗がん剤の副作用は結構大変で、3 年前の心筋梗塞や今年患った脳梗塞も副作用ではないかと言われています。10 年前のこの出来事は私の人生の岐路の 1 つになったと思いますが、私の病気などは祥子ママの膵臓癌に比べれば大した事は無いかも知れませんが、今回の出来事も私にとって人生の岐路になりそうな出来事でした。

今回のお題目とは少し異なるかも知れませんが、最近有った事をお話しさせて頂きました。

以上でスピーチとさせていただきます。

ありがとうございました。



イニシエーションスピーチ



猪股ソノ子会員

5月に村松会員よりご縁をちょうだいし、入会させていただきました、宝石のまきの猪股ソノ子です。本日はスピーチをさせていただける事に感謝申し上げます。

仕事の話しと私の生い立ちも踏まえながら、最後にはゴールデン RC

に入会した決意も、皆さまにお伝えしたいと思います。屋号は「宝石のまきの」

宝石・貴金属の販売と、加工を専門に営んでおり、屋号の宝石のまきのとしては私が二代目となり、今年で創業61年目を迎えます。場所は豊橋市東小田原町、豊橋駅から東へ徒歩5分ほどの所にあります。

父の祖父(私の曾祖父)になるのですが、戦前に「カナリヤ」という屋号で宝石商を営んでいたそうです。職人さんを何人か抱え、かんざしや帯留めなどの装飾品を作り、石川県の金沢や京都などへ芸妓さんや富裕層の方へ、行商人として遠い地へ足を運んでいたそうです。しかし、戦争で仕事道具の金やプラチナはもちろん、カナヅチなども回収され、挙げ句の果てには空襲で全てを失ったと聞いています。空襲で焼け残った宝石が店にありますので、興味のある方はぜひお立ち寄りください。

私の祖父は行商人として生計を立てていたの、宝石商としてであれば父は三代目、私は四代目となります。

父は15歳から市内の宝石店へ職人として修行に入り、指輪などを作る技術を学び、その後、独立。今から61年前、1964年 昭和39年、父が22歳の時に「宝石のまきの」という店を構えました。その3年後、母と結婚。夫婦二人三脚で営んでおりました。

1969年昭和44年、長男である私の兄が誕生しました。高井会員とは中学の同級生ですね。

1972年 昭和47年4月12日、長女である私が誕生。物心ついた時には、従業員や父の弟子として職人さんもいて、私は常に宝石と「人」に囲まれた生活を送っておりました。

地元、豊橋の小中高校を卒業し、名古屋の短大を卒業。そして東京にある宝石の専門学校「ヒコ・みずのジュエリーカレッジ」へ入学。そこで2年間、ダイヤモンドの鑑定方法や、宝石の種類、指輪の描き方や企業とコラボしてのマーケティング戦略の勉強や、自分でデザインした指輪を作る加工技術まで、広く多く専門知識を学びました。

私には3つ上の兄が1人、居ました。兄は跡取りとして、高校卒業後に私と同じ宝石の専門学校へ行き、卒業後はダイヤモンドの鑑定士の資格を取りたいと、2年ほどアメリカへ渡りましたが、食生活がどうしても合わず日本へ戻り、東京の大手ジュエリーメーカーへ就職。その頃、私は上京し、兄と同じ専門学校で学ぶ日々。兄弟仲良く、同じ東京でこれから過ごせると、両親も喜んでいた矢先。兄は突然の交通事故でこの世をさりました。1993年 平成5年、兄24歳、私は21歳、専門学校1年生の時でした。

私は突然、2つの跡継ぎとなりました。

牧野という姓と、宝石屋という家業の跡継ぎ。毎日毎日、どうすればいいのか、どうしたらいいのか、今すぐに実家へ帰るべきなのか、それとも修行してから帰る方がいい

いのかを、悩む日々でした。しかし、父や兄も外で学んだように私も他で修行をした後に帰ろうと心に決め、専門学校を卒業後には宝石の色石を学ぼうと思い、23歳の時、タイやスリランカへ買い付けに行っている大卸の会社に就職をしました。買い付けてきたルビーやサファイアを私はピンセットとルーペを用いて、大きさ、色、重さなどを選別し、その石を指輪やペンダントなどの製品にする会社へ営業マンとして、御徒町を歩き回る日を過ごしていました。

兄の死を必死に受け止めようとしていたのですが、心が崩れそうになり会社を退社。

そんな私を、父の仕事仲間が心配してくれ、彼が当時ボランティアとして活動していたボランティア事務局員の話をしていただき、私はそこでは阪神淡路大震災で倒壊した、神戸三宮駅にあった石造を立て直し、復興シンボルにと、その資金集めに銀座の街を歩き回っていました。石造の完成と共にボランティア活動は解散となり、私は気づけば前向きに、次は真珠について学びたいと思い、真珠屋さんへ就職。その後、1998年 26歳で結婚。仕事を辞め、翌年に長男が生まれ、長女が生まれる直前、今から20年前の2005年、この豊橋へ家族と共に戻ってくるまで、束の間の専業主婦を堪能させてもらいました。

子育てをしながら、実家で販売員としてパート勤務。仕事と家事と、子供の習い事の送迎などに追われる日々を過ごしていた中、PTAのお役や奉仕団体の活動もこなし、長男の時には桜丘高校英数科部長、長女の時には小学校女性部長と市P連の副会長、そして奉仕団体は国際ソロプチミスト豊橋ベンチャークラブで会長を、45歳の卒業年に花道を作ってください、2011年～2017年の間にぎゅとまとめてそれらを務めさせていただきました。

その後、仕事にも真剣に取り組むようになったのを覚えています。

さて、皆さんが想像する「宝石」「ジュエリー」とは、どういうものでしょうか？

指輪やイヤリング、ネックレスかと思いますが、では指輪がどうやって作られているか、父が職人として作業していたその工程を簡単にお話しします。

金をガスバーナーで熱して溶かし、それを四角い型に流し込み、冷え固まったところで再び熱し、それをカナヅチで叩いて伸ばしていきます。また熱しては叩き、熱しては叩き、厚さ5mmほどあった物をお客様好みの厚さ、約1.5～2mmほどまで薄く伸ばし、そうすることにより金の密度は濃くなり硬く丈夫に仕上がっていくのです。

作業のイメージとして、刀を造る鍛冶屋さんにとってもよく似ていて、鍛錬の鍛と造るという字を書いてその作業を「鍛造」といい、昔から用いられていた技法です。板状になった金をお客様のサイズに合わせて長さを切り、円柱のサイズ棒を押し当て、木槌で叩きながらどんどん丸くしていき、円になったところで端っ同事をロウ付け、いわゆる溶接をしたら指輪の出来上がり。仕上げはリューターなどで磨いてツヤを出し完成となります。

では次に、ダイヤモンドの評価についての話をします。ダイヤモンドの魅力とは、皆さん何だと思いますか？世の女性がダイヤモンドを好む一番の理由、それはキラキラ輝いているからです！ではなぜ輝くのか？それは、ダイヤモンドに入った光が反射するから。まきのではダイ



ダイヤモンドの 4C 表示を明確にし、販売しております。

ダイヤモンドの 4C、4つの C とは。

カラット、カラー、クラリティ、カット

英語で書くと頭文字はすべて C から始まります。

一つ目、カラット Carat 重さ。

カラットとはダイヤモンドなどの石の重さをあらわす単位で、1 カラットは 0.2g に相当します。よく、大きさと勘違いされていますが重さになります。

二つ目、カラー Color 色の等級。

ダイヤモンドは無色に近いほどその価値は高くなり、その表記はアルファベットの D を先頭に E、F、... と Z まです。

現在、最も無色に近い表記は D なのですが、A からではなくなぜ D から始まるのか？諸説ありますが、ダイヤモンドを英語で書くと頭文字が D から始まるから、という説とダイヤモンドは地球の産物ですので、もしかしたらこの先もっと無色のダイヤモンドが発見されるかもしれない？という事から A、B、C は空けてあるという説もあります。興味のある方はぜひ、ダイヤモンド発掘に情熱を注がれてはいかがでしょうか？ただし、命の保障はいたしません 笑

三つ目、クラリティ Clarity 透明度の等級。

クラリティとはダイヤモンドの透明度、キズや内包物の有無を表します。鑑定士が 10 倍の拡大鏡で、プレミッシュ(外側のキズ)とインクルージョン(内包物)を検査し、それを鑑定書に記載します。無傷とされている表記が FL(フローレス Flawless)から VVS1、VS2、... と、11 段階表記になっています。私たち人間にホクロなどがあるように、ダイヤモンドのそれらも持って生まれた特徴だと思ってもらえたらよいと思います。

四つ目 カット Cut プロポーション。

ダイヤモンドがもっとも美しく輝く 58 面。内包物もある中、いかに美しく輝かせるかはその技術をもった職人の手にかかっています。最高ランクはエクセレント (Excellent) から始まり、5 段階表記となっています。

ダイヤモンドを購入する際に選ぶ基準は様々。例えば、重さは 0.5ct は譲れない

でも予算が...、という方は、カラーは G にして、クラリティは VS クラスにするなど。まきの中ではその方のご予算に応じたダイヤモンドを取り揃える事ができますのでご安心ください。

職人の父は 3 年ほど前に癌におかされ、この世をさりました。しかし、父のおとうと弟子が近くに居て、父と同じような仕事をしてくれ私と母を支えてくれています。そして東京にも職人として、デザイナーとして、心強いパートナーが数人います。母も私も、これまでの経験とセンスを惜しみなく開放しますので、安心してリフォームやフルオーダーのご注文もお待ちしております。そして、店頭には常に既製品も並べてあります。指輪、ネックレスやイヤリング、ルビーやサファイア、誕生石から真珠のネックレスやブローチなど。長年取引のあるメーカーさんや、兄が生前勤めていたメーカーさんなど、信頼と共にその商品を仕入れ、流行のものから長年愛用できる商品まで数多く取り揃えております。

これからはブライダルに力を入れ、鍛造仕上げの結婚指輪をイチオシにした「パイロットブライダル」というブランドをお勧めします。そしてもちろん、プロポーズに最適な、トリプルエクセレントカットのダイヤモンドも取り寄せる事ができます。時に私は、プロポーズのシチ

ュエーションの相談をされる事もあり、その方の想いにあった成功法をお伝えしております。

また、ホームページのリニューアルをオフィスサポートセンターさんにお願ひしましたので、来年早々に仕上がる予定です。皆さんチェックをお願いします！

インスタもやっております！現在フォロワーは 254 人！ゴールデンは 236 人！若干、上回っていますね！目標は古来やさんの 481 人！皆さんこの後すぐに、フォローをお願いします！

父は生前、こう言っていました。

「商売は地道にコツコツと」「地元のお客様あつてのお店」そして「まごころを込めて」

「その先のお客様の笑顔のために」

お客様に誠実に向き合った商売を、両親はしてきたんだと、いま私は肌で感じとることができています。それは、お客様から「本当に優しいお父さん、本当に良い物を勧めてくれたんだよ」というお声をいただいたり「ソノちゃん、応援するよ」とか「祖母の紹介で来ました」と言って親子三代で買い物に来てくださる方もいらっしゃいます。

2025 年 5 月。私はここ、豊橋ゴールデン RC で、新たな出会いと新たな道を選択しました。私のボランティア精神は、幼い頃から父がライオンズクラブだった背中を見て芽生えたものかもしれません。「楽しい事をするのではなく、する事を楽しむ」楽しい事というのはその辺に転がっているものではない。与えられた事、与えてくださった事をおおいに楽しもう！この言葉も、私を変えてくれた一つです。

PTA 活動をしている中、自分自身で気づいた事、支えられた事を実感する事が多くありました。本来自分 1 人で動いてしまうのが楽な私でしたが、自分の苦手を認める事を覚え、作業を分担し成功を分かち合う喜びも覚えました。ボランティア活動をしていた時には、タダでお金をもらう事がいかに大変かを肌で感じ、時にはちゃぶ台をひっくり返したくなる事もあったりもしましたが。笑

私はこの次、ここ、豊橋ゴールデン RC で何を学ぶのか、...

色々なアンテナを立て、もしかしたらこの先、壁が立ちあがるかもしれません。壁だと思つて一人で登ろうとしてみます。ですが、それを壁ではなく大きな扉だと思ひ、皆さんから吸収した学びを錘(おもり)にし、その大きな扉を開けるために、皆さんが自然と私に手を差し伸べてくださる様な人になれるよう、情熱と笑顔で活動をしていきたいと思ひます。

皆さんの心にある「優しさ」に触れ、私の持っている「優しさ」と共有し、そしてそれは「思いやり」とに変化し、その「思いやり」はこれから出会う人たちに惜しみない愛情で届けられたら嬉しく思ひます。

今年のロータリーメッセージは『よいことのために、手を取りあおう』でした。

不満を言い、足を引っ張り合うより、感謝を伝え、手を引っ張り合う人(仲)でありたい。

私自身、そして、豊橋ゴールデン RC 全体がその名の通り、光り輝くクラブになれたらと願ひます！

改めて、私が皆さんの人生の登場人物になれたこの奇跡に感謝！

ここへ導いてくださった村松会員に感謝！

ご清聴、ありがとうございます。



加藤千映子会員

皆さま、こんにちは。
ただいまご紹介にあずかりました、
加藤千映子と申します。

このたび、ゴールド RC に入会
させていただき、大変光栄に存じ
ます。入会にあたり、温かく迎えて

くださった皆さまに、まずは心より御礼申し上げます。
私は、豊橋市神野新田町の農家の家に生まれました。幼
い頃は家で鶏を飼い、その卵を食べて育ちました。今で
こそスーパーに行けば簡単に手に入る卵ですが、当時は
自分の家で取れた新鮮な卵をいただけることが、当たり
前でありながら、今思えばとても贅沢なことだったのだ
と思います。お風呂も五右衛門ぶろで、薪をくべて沸か
すその光景は、私の原風景となっています。

高校を卒業してからは、人材派遣の仕事をアルバイトと
して手伝えることになりました。そのときの経験が、のち
に現在の人材ビジネスを展開する上で大きな基盤とな
りました。仕事を通じて、「人と人との出会いが、新し
い仕事を生み出す」ということを身をもって学んだので
す。

また、学生時代にはホテルでアルバイトをしておりまし
た。そこで出会ったのが司会の仕事です。華やかな場で
マイクを握る司会者を見て、「これはきっと儲かる仕事
だ」と思い、挑戦してみました。しかし実際にやってみ
ると、日本には“税金”というものがあり（笑）、思っ
たほど儲からない現実気づかされました。ただ、それ
をきっかけに結婚式や葬儀の司会を本格的に始めるよ
うになり、この司会業には気づけば三十年以上携わって
おります。多くの人生の節目に立ち会い、笑顔と涙に寄
り添うこの仕事は、私の大切な財産となっております。
さらに、青年部の仲間との何気ない会話から、新しい挑
戦が始まりました。年末に「何か儲かる商売はないか」
と尋ねたところ、「障がい者の放課後等デイサービスが
良いですよ」と勧められたのです。軽い気持ちで聞いた

一言でしたが、それをきっかけに障がい者福祉の分野に
取り組むようになり、気づけば13年。多くの子もた
ちやご家族と関わる中で、「支える」ということの意味
を深く考えさせられる毎日でした。

3年前には老人施設の運営も始め、現在は浜北に1施設
を構えています。そして来年には、浜松でも新たに1施
設を開業する予定です。少子高齢化が進む社会において、
福祉の分野に携わる責任をますます感じております。

また7年前には、浜松市の5か年計画の中で保育園の
認可を取得し、社会福祉法人「雄気の里会」を設立しま
した。現在は定員120名の認可保育園を運営しており、
日々元気な子どもたちの声に囲まれております。農家の
家に生まれ、自然の中で育った自分が、今度は次の世代
の子どもたちに健やかな環境を提供できていることを、
とても嬉しく思っております。

振り返りますと、農家の少年時代に始まり、人材派遣、
司会業、障がい者福祉、老人施設、保育園と、実に幅広
い分野に挑戦してまいりました。その根底にあるのは、
「人とのご縁を大切にする」という思いです。仕事も人
生も、人との出会いによって拓けてきました。そして今
回、こうしてロータリークラブの皆さまとご縁をいただ
けたことも、私にとって新たな大きな一歩であると感じ
ております。

ロータリーの理念である「超我の奉仕」は、まさに私が
これからの人生で大切にしていきたい言葉です。自分自
身の利益や欲を超えて、地域や社会のためにどのように
力を尽くせるか。それを実践する場として、このクラブ
に入会できましたことを、心からありがたく思っており
ます。

未熟者ではございますが、これまでの経験を少しでも皆
さまのお役に立てるように、また共に学び、共に行動で
きるように努力してまいります。どうぞ今後ともご指導
ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。

★ニコボックス

9月12日分

大須賀憲太：鈴木ガバナー、小池地区幹事公式訪問
ありがとうございます。楽しみにしてい
ました。

岡本久永：ファイヤーサイドミーティング大変楽し
いひと時を過ごさせて頂き。

山口幹夫：例会出席のご支援に感謝します。

9月19日分

神谷 馨・高橋哲也：猪股会員、加藤千映子会員イニ
シエーションスピーチよろし
くお願い。

辻 信之・山下 孝：誕生日をお祝い頂き。

中村彰宏・松島弘和：入会記念日をお祝い頂き。

伊藤眞芳・中村彰宏：会員スピーチをさせて頂き。

猪股ソノ子・加藤千映子：イニシエーションスピーチを
させて頂き。

高井龍雄・伊藤角栄・

石原聖季・酒井正樹・

二橋佳奈：猪股会員、加藤千映子会員イニシ
エーションスピーチ頑張ってます。

宮川嘉隆：家族で大阪万博に行ってきました。弊社の機
械で加工された大屋根リングを歩いてきま
した。まだの方は是非体験してください。

山本雅久：ガバナー公式訪問のニコボックスとして。

中村彰宏ニコボックス委員

★幹事報告

・名古屋宮の杜 RC より例会場ビジターフィー変更
のご案内、名古屋葵 RC よりビジターフィー変更
のご案内、東海 RC より例会場変更のご案内、尾身
茂氏講演会のご案内が届いております。

★他クラブの例会変更

■9月30日(火) 豊橋北RC 地区補助金事業例会

■10月2日(木) 田 原RC オフロードトライアスロン応援例会

■10月7日(火) 宝 飯RC 会場都合のため

■10月8日(水) 渥 美RC 3RC合同ガバナー公式訪問

■10月9日(木) 田 原RC 3クラブ 合同ガバナー公式訪問